

ねん ど だい かい しずおか し た ぶ ん か きょうせいきょうぎ かい かい ぎ ろく  
2019年度 第1回 静岡市多文化共生協議会 会議録

- 1 日 時 2019年7月24日(水) 19:00～20:30
- 2 場 所 あおいしょうぼうしょ かい かいぎしつ  
葵消防署 6階 61会議室
- 3 出席者 た ぶ ん か きょうせいきょうぎ かい い い ん めい  
多文化共生協議会委員14名  
ぜん こひゃん そう けつ たかはた さち たん か しん ながさか あるびな のだ としろう  
全 高香、叢 潔、高畑 幸、TAN KAH XING、長阪 有美奈、野田 敏郎、  
ばく へそん びはん だうい びえーる ふくい  
朴 惠善、BIHAN DAVID PIERRE、福井 ユミ、ホリウチ アリッセ イズミ、  
やました  
山下 メリンダ、ラクスマ デワヤニ、李 栄元、李 重楼、  
しみんきょくちょう しみんきょくじちやう じむきょく しずおか し こくさいこうりゆうきょうかい  
市民局長、市民局次長、事務局、静岡市国際交流協会
- 4 傍 聴 者 めい  
6名
- 5 次 第 (1) かい かい  
(2) いしよくじやうこうふ  
委嘱状交付  
(3) し みんきょくちやうあいさつ  
市民局長挨拶  
(4) い い ん およ しょく い ん じ こしやうかい  
委員及び職員の自己紹介  
(5) じ む きょく せつめい  
事務局より説明  
(6) しずおか し こくさいこうりゆうきょうかい せつめい  
静岡市国際交流協会より説明  
(7) かいちやう ふくかいちやうせんしゆつ  
会長、副会長選出  
(8) い けんこうかん だい かいきょうぎ かい につてい  
意見交換、第2回協議会の日程について  
(9) だんじよさんかく た ぶ ん か きょうせい かいちやうあいさつ  
男女参画・多文化共生課長挨拶  
(10) へい かい  
閉会

もちづきかちやう ぼ さ  
○望月課長補佐

かいぎまえ  
会議前ではありますが、お手元にお配りしました資料の確認をお願いいたします。配布  
しりやう しりやう しりやう しりやう かくしりやうごと みぎうえ しりやう  
資料とございますけれども、資料1 から資料12 がございます。各資料毎に右上に資料  
ばんごう  
番号がありますので、そちらを参考にしてください。全部で 12種類ですね。10 が2つ  
あ ぜんぶ あ  
ありますので全部で 13あります。

もちづきかちやう ぼ さ  
○望月課長補佐

ま だいこく いま だい かいしずおか し た ぶ ん か  
では、お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただ今から、第1回静岡市多文化  
きょうせいきょうぎ かい かいさい ほんじつしakai  
共生協議会を開催します。本日司会をつとめさせていただきます、男女参画・多文化  
きょうせいきょうぎ かいちやう ぼ さ もちづき ちやう ねが ほんじつ  
共生課課長補佐の望月と申します。よろしく願いいたします。本日は全員出席してい  
ただいています。ありがとうございます。はじめに、た ぶ ん か きょうせいきょうぎ かい い い ん いしよくじやう  
多文化共生協議会委員委嘱状の  
こうふしき おこな せき すわ ふかざわ し みんきょくちやう みなさま せき うかが  
交付式を行います。席に座っていただいて、深澤市民局長が、皆様の席にお伺いしま

して、委嘱状をお渡しいたしますので、お名前をお呼びしましたらその場にお立ちいただき、お受けとってください。よろしく願いいたします。

#### 委嘱状交付

#### ○望月課長補佐

14名委員に委嘱されました。2年間よろしく願いいたします。それではここで次第に沿って進めさせていただきます。資料1のとおりになります。深澤市民局長から、皆様方にご挨拶申しあげます。

#### ○深澤市民局長

後ろから失礼します。改めて、皆様、こんばんは。今ご紹介いただきました静岡市の市民局長を務めます深澤と申します。どうぞよろしく願いいたします。本日はお忙しい中、静岡市多文化共生協議会の第1回目の会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。ただ今、委員の皆さんに委員の委嘱状、委員をお願いするという書面をお渡しさせていただきましたが、これからこの協議会の場で、外国人の皆さんが生活する上で抱える様々な課題・問題などについて、大いに議論していただきたいと思っております。静岡市では、「誰もが安心して暮らすせ、ともに創る多文化共生のまち」ということで、2015年度に3つのキーワードですね、「ともに生きる」「ともに学ぶ」「ともに創る」この3つをキーワードとする「多文化共生推進計画」、どうやって進めていくかという計画ですね、これをスタートさせました。様々な国の方々が、言葉や生活習慣の違いを乗り越えて、互いに理解をしあってみんなが安心して暮らすことができるまちを目指すことは、外国人だけでなく日本人にとっても「思いやりのある、やさしいまち」の実現につながると思っています。これからこの協議会の場で色々議論を重ねていただいて、市長に提言を最終的にしていただきます。それまでおよそ1年8か月くらい、ちょっと長期にわたる会議になりますけれども、皆さんの熱い思いが静岡の市政に反映されて、静岡市に住む外国人、日本人の双方にとって有意義な会議になるように期待しております。どうぞ皆さんよろしく願いいたします。

#### ○望月課長補佐

ありがとうございました。それでは、初会合となりますので、本日ご出席の委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。時間も限られていることから、1人1分程度でお願いいたします。資料の2に委員の名簿を作成しております。五十音で作らせていただいておりますが、こちらの順番のとおりをお願いしたいと思います。まずは、全委員からお願いいたします。

#### ○全 高香委員

全高香と申します。日本生まれの韓国人です。静岡に来て18年になります。ちょうど

むすめ しずおかそだ  
娘が静岡育ちなんですけれども、静岡愛に満ち満ちているんですね。いっしょ く  
がらすっかりこの静岡がよい街だということで、私のほうも静岡愛に最近満ち満ちて  
きたかななんておもっています。おとしから静岡市でこの様な協議会に参加する機会を  
得てから、外国人の声を提言にまとめてという形で市政に届けるといいう経験をするこ  
とができて、すごくラッキーだったなと思っていたんですけれども、また今期も委員と  
して参加することができてうれしくおもっています。どうぞよろしくお願いいたします。

そう けついいん  
○ 叢 潔委員

はじめまして。しずおかだいがくじんぶんしゃかいがくぶ ねんせい ことし しずおかし たぶん かきょうせいきょうぎかい  
静岡大学人文社会学部3年生で、今年この静岡市多文化共生協議会の  
委員を引き受けさせていただきました、叢潔と申します。私はこの多文化共生協議会  
の委員を引き受けたのは、自分が静岡に来て3年も経ちますので、第二の故郷と思っ  
ている静岡市がもっと彩のある静岡市になって欲しいという気持ちを私だからできる  
という提言をできる場を提供してくれるので、こちらに参加させていただきました。こ  
れから1年8ヶ月の間どうぞよろしくお願いいたします。

たかはた さちいいん  
○ 高畑 幸委員

みなさんこんにちは。たかはたさち もう げんざい しずおかけんりつだいがく こくさいかんけいがくぶ きょういん  
皆さんこんにちは。高畑幸と申します。現在、静岡県立大学の国際関係学部の教員をしており  
ます。よろしく申し上げます。専門分野は社会学で、特に日本国内の外国人の問題を20年余  
り色々調査して参りました。私は大学でも多文化共生論という授業を担当しております。また、  
私のゼミでも多文化共生に興味がある学生が集まっています、今日もゼミ生のうち4人がオ  
ブザーバーで来ております。この様な形で私共の学生も共に学んでいきたいと思っています。  
今後ともよろしくお願いいたします。

た ん か し ん い い ん  
○ TAN KAH XING 委員

みなさんこんにちは。はじめまして、マレーシア しゅうしん いまげんざいしずおかだいがく ねん た ん か し ん  
皆さんこんにちは。はじめまして、マレーシア出身の今現在静岡大学3年のTAN KAH XING  
と申します。タンと呼んでいただければと思います。今3年生なのでもう就活を始めていて、  
げんざいにほんの就職を考えております。大学をとおしてこの委員会をやらせていただいて、まだ  
未熟な所が色々有ると思いますが、皆さんの意見を参考にしながら、自分が発言する様に  
頑張りたいと思います。よろしく申し上げます。

ながさか あるび ないいん  
○ 長阪 有美奈委員

みなさんこんばんは。ながさかあるび な もう ねが わたし にほん き  
皆さんこんばんは。長阪有美奈と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は日本に来て  
今年で20年目になりますが、その中で静岡に住んでいる年数はおおよそ10年になります。私の  
かつどう げんざい ご ほんやく つうやく おんがくぶんや すこ  
活動としましては、現在はロシア語の翻訳・通訳プラス音楽分野も少しやらせていただいております。  
2年前、自分の活動を法人化にさせていただいて、今は株式会社として活動を続けてお  
ります。国籍はロシアですけれども、日本の方と結婚しています。今は3歳の子どもがいます

子育ての傍らで活動させていただいておりますので、不都合な場合もございますが、もし欠席になってしまった場合はどうかご容赦いただきたいと思います。ロシア人の人口は全体的にこの表を見させていただいたんですけれども、静岡市・静岡県においては少ないと思いますが、ロシア人視点から何かをお手伝いできればと思います。参考情報としましては、現在は静岡地域外交課がロシアにある地方と経済的な連携を構築中なんですけれども、その際に時々少し通訳とか翻訳をお手伝いをさせていただいております。ロシアの市場への進出はまだ先ですが、静岡においては、これから更に発展できればと思います。以上になります。よろしくお願いたします。

#### ○野田 敏郎委員

野田敏郎と申します。国際ことば学院日本語学校という、いわゆる民間の日本語学校で教員をしております。私は実は東京の出身で、仕事でこちらの静岡に来ておまして、この先ずっと静岡に住むかどうかまだ決めてはいませんけれども、この仕事がある限りは私はここに居ようかなと思っています。東京の出身ではありますけれども、静岡の事は自分が生まれ育った所よりもそろそろ長くなりますので、他人の土地の様な感じがしない思いがありますので、なんとか静岡市が盛り上がると良いなと思っています。日本語教育は今年の6月に国会で日本語教育推進法という法律が制定されて、今後増々、自治体と日本語教育の関りが深くなると思いますので、その立場から意見を言わせていただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。

#### ○朴 惠善委員

こんばんは、私は韓国から来た朴惠善と申します。日本に来て27年目で、静岡に住み始めたのは21年前からです。最初は、主人が東京の大学に留学に来るにあたって一緒について来て、何も日本語が分からないまま生活してたんですけれども、今は自分の国より逆に言葉が自然に出てくる様に慣れちゃって、楽しく静岡生活をしています。子供達2人はもう東京で社会人をしていますので、たまに行きますけど、やっぱり静岡に戻ってくるとほっとして、東京に住みたいとあまり思わなくなったんですね。静岡はずっと住みたいと思います。ちょうど6年前にこの活動に1回、1期で2年間活動したことがありまして、今回もう1回チャレンジして、少しでも役に立つ立場になればいいなと思って参加することになりました。またよろしくお願いたします。

#### ○BIHAN DAVID PIERRE委員

ビハン ダヴィと申します。フランス人です。もともと静岡大学に留学してました。専門は日本語と経営でした。経営管理修士号を持っています。大学を卒業してからやっぱり静岡がいいな、お茶もおいしくて、日本酒もうまくてやっぱり静岡がいいなということでまた静岡に来て、就職活動を静岡で行いました。現在は語学学校を経営しています。フランス語を教えたり、英語を教えたり、あとは外国人に日本語を教えています。静岡が大好き過ぎて、SBSのイブアイという

番組によりライターとして、静岡の事を外国人の観点で話したりしてきました。日本の伝統文化が好きで、5年間以上築150年以上の古民家に住んだことがあります。古民家鑑定士資格まで取りました。ちなみに日本で外国人の古民家鑑定士は僕だけです。自慢はそこまでにして、よろしくお願いたします。

#### ○福井 ユミ委員

南米パラグアイ出身の福井ユミと申します。両親が日本人なので日本国籍をもっていて、ダブル国籍という形で日本で生活しております。20年になりました。現在は介護の仕事だけに絞って仕事をしているんですが、以前、外国人支援という形で県国際交流協会とおして外国人の支援を8年近くやっておりました。今年の3月まで医療通訳を含めて済生会病院の中でやっておりました。本当の事を言うと外国人嫌いになってしまったという、疲れたところがあって、ちょっと離れようかなと思いつつも、じゃあなんでここに来るんだと自分の中に矛盾が有るなど思いながら、ああ外国人の大きい問題、それが嫌になったんだというのが分かって、じゃあそこを解決できる道を少しでも見つけるお手伝いできたかと思つて、今回参加させていただきました。2期目になります。どうぞよろしくお願いたします。

#### ○ホリウチ アリッセ イズミ委員

皆さんこんばんは、ブラジルの日系2世のホリウチ アリッセ イズミと申します。よろしくお願いたします。今回はユミさんと同じ様に2期目になります。私の両親がブラジルに移民に渡りまして、生まれ育ちはブラジルということです。現在は主に大学でポルトガル語の教員をやっております。ブラジルでは日本語教員をやっていた経験が有りまして、大学ではブラジル人の子ども達に教える為の教員を目指している学生の指導も行っております。よろしくお願いたします。

#### ○山下 メリダ委員

ハロー、皆さんこんばんは！山下メリダと申します。静岡市国際交流協会のフィリピンの相談員として、20年ぐらいになります。もちろん様々な問題とか悩みが有ったので、私にとっても色々勉強になりました。なぜ日本にいるかと言うと、日本人静岡人と結婚して、一人娘は現在東京に住んでいます。18年前にフィリピンのオーガニゼーションを静岡で設立しました。そのきっかけはやはり静岡市国際交流協会の関係です。様々なフィリピン人の問題や悩みが有ったので何かサポートしたいと思つきました。だからフィリピン NAKAMA会を作りました。現在は18年目になります。私たちの目的はフィリピン人の輪を広げ、フィリピンの文化の紹介を促進する為にこの会をやっています。今でも色々な事で頑張っていますので、どうぞ皆さんよろしくお願いたします。

#### ○ラクスマ デワヤニ委員

皆さんこんばんは、インドネシアから参りました、ラクスマ デワヤニです。長いですが、普段は

ニックネームのララでも大丈夫です。もともと私は留学生として日本に来ましたので、国際ことば学院の野田先生は私の担任の先生です。たまたま今日会ってうれしいです。日本語学校を卒業後、県立大学大学院に進学しました。2012年卒業して色々活動して、子どもが2人いますのでパートで仕事をしています。7月1日から静岡県国際交流協会相談員として「かめりあ」という相談窓口が有って、相談員として全さんと一緒にやっているんですけど、またここで一緒になって、全く知らなくて…！私が参加する理由は、親として子供2人いて、宗教関係でムスリムとして色んな不安なことが有って、例えば子供のお弁当のこととか、豚肉を食べられないとか学校の給食食べられないので、そういう不安なことをムスリムとしてそういう声を代表として伝えたいと思っていますので、是非皆様今後もよろしくお願ひします。

### ○李 栄元委員

朝鮮籍の李栄元と申します。韓国語ではリ・ヨンウォンと発音するんですけども、日本生まれの日本育ち、ほぼ静岡で育ちました。今は障害者の福祉の仕事に携わっています。静岡の中島という所に朝鮮学校が有ります。今年55周年になりますけれども、私も今55歳でちょうど同じ年齢で、学校をサポートする活動に参加しております。これからアイデンティティーをしっかりと守りながらも静岡で多文化共生の為にいろいろ知恵を絞ってお手伝いになれるよう努力したいと思います。よろしくお願ひします。

### ○李 重楼委員

はじめまして、静岡県立大学国際関係学部の2年生、中国出身の李重楼と申します。静岡市多文化共生協議会は2017年の4月から9月くらいにもあって、その時は日本に来て半年くらいで応募した事が有るんですけど、その時は日本語が得意ではなく、日本語1級か2級くらいの条件を指定されて落ちてしまったんですけど…。今年も応募しようと思ったんですけど、学生室から連絡が来て学校が推薦して下さることになりまして、ラッキーかなと思ひました。なぜ協議会に参加しようと思ったかという、僕は旅行が大好きで、前は台湾に行ったとき、日本人の友達何人かと飲み会になって、四国や沖縄の人や静岡の人でも2人いて、みんな自分の故郷をアピールしたりしましたが、静岡の方は全然アピールできなくて、「静岡は何があるか、富士山ぐらいかな？」と。そのとき、静岡のことをアピールするのは全部自分だったので、皆さんは知ってるかどうか分からないですけど、静岡は日本の床と屋上。駿河湾は日本の一番深いところ（床）、富士山が一番高い所（屋上）があるのに、静岡にずっと住んでるからどのくらい静岡が好きかはちょっと分からなくて、静岡から離れて外国とか行く時はすごく静岡のことを好きかなと思ひます。なぜ静岡に来たかという、前はビジネスで出張先は草薙だったので、県立大学の周りに行って、隣の芝生公園と県立美術館と図書館を見て、そこから直感的にここは絶対僕の将来行く大学だと思ひた。その後、帰国して日本語を独学して、国際ことば学院日本語学校へ進学して県立大学に入学しました。その時は志望校は

1つしかなかったので、もし合格できなかつたら帰国しかない。だから静岡の人にありがたい気持ちを一ぱい持って。これから静岡に貢献できる事がありましたらいいなと思います。よろしくお願ひいたします。

#### ○望月課長補佐

ありがとうございます。皆さんとても静岡愛にあふれたお言葉をいただきまして、大変ありがたく思います。続きまして、これから皆様とともに、協議会を進めさせていただきます、事務局の職員を紹介いたします。

#### 職員紹介

#### ○望月課長補佐

ありがとうございます。それでは、次第のほうに戻って事務局より説明をしていきたいと思ひます。5番にあります、協議会の目的や全体スケジュールについてです。資料は4と5を使って説明させていただきます。

#### ○中川主任主事

私のほうから多文化共生協議会の説明をさせていただきます。資料4「多文化共生協議会 概要書」をご覧ください。資料5「多文化共生協議会 全体スケジュール」、資料6「これまでの提言 進捗状況」の3点をご用意ください。はじめに、資料4「概要書」(1)「目的」をご覧ください。この会議は、静岡市内に在住する外国人住民等が、市長から委員の委嘱を受け、地域社会の一員として生活に関するあらゆる問題や課題等を検討し、多文化共生のまちづくりを進めるため、また外国人住民等が市政に参加する機会を確保するために設置しています。会議で話し合う内容は、(2)のとおり「外国人住民の生活に関する諸問題」についてです。1回1時間30分の会議を、今回を含めて4回開催する予定です。委員の任期は、(3)のとおり、本日2019年7月24日から2021年3月31日です。報酬は、(5)のとおり、1回の会議について、11,500円です。所得税を引いた額を、会議の開催から1か月以内に、指定の口座にお振り込みをいたします。また、報酬のほかに、電車やバスなどの公共交通機関で来た方には交通費をお支払いします。毎回会議の終了後に、どこからどこまで、何の公共交通機関で来たか聞きますので、区間を忘れずに教えてください。机の上に紙を置きました。公共交通機関を使って来た方は、それにどのように来たか書いていただきたいと思います。次に、資料5「全体スケジュール」をご覧ください。今年度は7、10、12、2月の4回、会議を実施する予定です。来年度は予定なんですけれども状況に応じて変更があるかもしれませんけれども、来年度2020年度については7、10、12、2月のスケジュールで行っていかうと予定をしております。また変更があるかもしれませんが、今のところスケジュー

ルということでご承知おきください。

○望月課長補佐

次に、これまで出された提言書について事務局からご説明いたします。資料は6番と10番です。

○中川主任主事

つづきまして、資料6をご覧ください。過去の提言をまとめたものです。毎回、大きなテーマを3つから4つ、冊子を作成しています。昨年度は、「防災に関する取り組み」「地域との交流に関する取り組み」「教育に関する取り組み」「留学生に対する取り組み」の4つのテーマでした。これらの提言を実現させるために、現在、取り組みを進めています。一番右に、それぞれの提言の実現に向けて、取り組んでいることが書いてあります。まだ検討中の部分もありますけれども、新たに実施が決まった項目もあります。時間の関係で全部は紹介ができませんが、例えば大きい1番の③「英語、やさしい日本語を使用して、外国人住民に伝わりやすい方法で情報発信を行う」では、今年度に避難所での外国人被災者対応マニュアルを作成し、実際に避難所に携わる職員などに向けて配布し、活用方法を説明しました。まずは、避難所で関わる職員などに対して、外国人对応に必要な内容について知ってもらうことを目的としています。また、防災ではありませんが、今回机の上にはチラシを1枚配布させていただきましたけれども、ごみの分別アプリを環境局で作成し、今年度から配信しております。英語、中国語、やさしい日本語に対応していますので、今回ご紹介させていただきました。また資料6に戻っていただきまして、大きい2番の③「地域の多文化化にともなう課題を解決するため、地域の国際化を推進する静岡市国際交流協会を広く市民に知ってもらう」については、今年度静岡市国際交流協会のホームページを新しくし、スマートフォンからアクセスしても見やすいものになりました。更に、対応言語もベトナム語とやさしい日本語を追加し、7つの言葉で見ることができるようになりました。ぜひ皆様もご覧いただきたいと思います。全ての例は紹介しきれないので、ここまでとさせていただきます。このように、委員の皆様がこの協議会で出してくださった提言は、実際に、静岡市のまちづくりに直接生かされていますので、皆様には、ぜひ積極的にご意見を出していただけたらと思います。以上で、私からの説明を終わらせていただきます。

○望月課長補佐

つづきまして「静岡市多文化共生推進計画」をご説明させていただきます。資料は7番8番、11と12になります。静岡市では、外国人と日本人が同じ地域で、ともに暮らしていく「多文化共生」のまちづくりを進めるため、「静岡市多文化共生推進計画」を策定しております。資料の12番を使って説明させていただきます。11番が資料の詳しいもので、

資料12「多文化共生推進計画」のダイジェスト版のパンフレットです。このパンフレットには、ルビ(小さなヒラガナ)が振ってあります。外国人の方にも手に取って読んでほしいとの思いからです。開いて頂くと、左端上に静岡市の外国人の状況がグラフで載っていますが、平成26年の数字のため、資料7の外国人住民データで説明をさせていただきます。赤い目盛りが静岡市の総人口、青い目盛りが静岡市に在住の外国人住民数となっています。総人口はだんだん下がって現在70万人となっていますが、外国人はだんだん増えてきて現在1万人をこえております。5年前、平成26年度を見ていただくと8,028人でしたが、今は1万人をこえておりますので、5年ちょっとで2,000人も増えてかなり増加が著しいということが分かってくると思います。もう1枚見ていただくと、詳しい国籍別の内容が出ております。平成21年の時は中国・韓国・朝鮮・ブラジルというのが上位でしたが、2019年平成31年の4月末では中国・韓国は変わりませんが、その後はフィリピンになっています。現在6月はベトナムになっています。東南アジアの方がかなり増えている事が分かると思います。下の表が見えていると思うんですけども、ブラジルを見ていただくと、10年前の差が1,000人、県内で見るとブラジルの方が一番多い形になりますけれども、静岡市の状況では中国の方が20%を超えているということで1位、続いて韓国・ベトナム・フィリピンとなります。3枚目が分野別の外国人住民の数ですけれども、こちらも内容が太分変ってきています。以前は「身分または地位に基づく在留資格」の方が多かったですが、最近では「留学」や「技能実習」の方が増えていることが分かります。この計画の「基本理念」は、『異なる文化や価値観を認め合い、そのちがいを社会の豊かさと捉え外国人と日本人の住民双方が地域社会を担う対等なパートナーとしてともに暮らせる多文化共生のまちづくり』としました。資料12になります。その中で、「8年後の目指す姿と基本目標」としては、『誰もが安心して暮らせともに創る多文化共生のまち』としました。基本目標は大きく3つに分けています。「ともに生きる」「ともに学ぶ」「ともに創る」でそれぞれ取り組みを表記しております。例えば、『ともに生きる』は、「外国人住民が情報を確実に理解するための取り組み」「生活情報の提供」「災害の備え」そういったものが『ともに生きる』の部分になります。『ともに学ぶ』は、「外国人住民への学習支援、日本語支援、児童生徒の学習環境の充実」「外国人家庭への支援」「日本人住民への多文化共生の理解促進」も入っています。また更に進んだ段階で、『ともに創る』は、「外国人住民の地域への参加と行政への参画の促進」、この協議会がそのものずばりになっております。また、「外国人住民を支える関係機関(国際交流協会)等との連携」も入っております。9番には、「国際交流協会の機能、充実」と入っていますが、この計画の中でも地域社会と行政とをつなぐパートナー、コーディネーター役として国際交流協会をお願いをしているものでありますので、この協議会の中でも一緒に携わっていただいているという次第です。ただし、外国人住民も日本人住民と同様に「社会貢献活動

への支援」をしていただくという部分も最終的にはお願いしたいと考えております。やはり、その部分が日本人と外国人が両方共になって生活をしていく上で必要になってくると考えています。目標と施策の方向性は以下のとおりになります。各課でも実施しているんですけども、資料8を見ていただくと、各課でやっていることが分かります。平成30年度の事業実施計画ですが、この後また新しい計画と実施を取っていく形になります。現在皆さんのところに今言った施策の方向性ごとに資料を作っておりますが、最終的には130もの事業を各課でやっています。1番では企画課というところがパンフレットを外国語英語表記にしているとか、ローマ字表記にしている等こちらに載せてありますので、当課だけではできないものですから、計画に沿って静岡市全体で外国人の方の生活を支えることを色々やっているのをご理解いただきたいと思います。最後に、資料12、当課でやっていることですが、国際理解講座とか外国人住民の防災訓練を国際交流協会と一緒にやっています。多言語支援センターというものが敷設されますので、こういったものを国際交流協会と一緒にやっていきます。また、生活相談も国際交流協会と一緒にやっております。国際交流員が2名おりますので、ベニータさんとスルグリンさん、先ほどご紹介しましたが、子ども園等に行き、子供達に多文化共生への理解を深めるために外国の言葉・文化・歌・踊り等で異文化理解講座を進めています。また、国際交流フェスティバル等そういったものに参加していただいている方もこの中にいらっしゃると思うんですけども、そういったものも有ります。以前こちらは住民懇話会という形でやっていたんですけども、今は諮問機関として格上げになりまして、多文化共生協議会というものを設置しております。簡単ですが「静岡市多文化共生推進計画」について説明させていただきました。早口で説明させていただきましたけれども、今事務局で説明した目的や全体スケジュール、推進計画等に質問はございますでしょうか。時間が無いものですから進めさせていただきますけれども、また家に帰って読んでいただければと思います。また、質問がございましたらいつでも市に電話やメールでお問合せいただければすぐに回答いたしますので、よろしくお願いいたします。それでは、次に国際交流協会から説明させていただきます。まず、事務局長のご挨拶をお願いします。

#### ○静岡市国際交流協会 小長谷事務局長

改めまして、静岡市国際交流協会の小長谷です。さきほど、望月さんのほうから国際交流協会と何回も連呼していただいたもんですから、もう覚えていただけたと思います。私は国際交流協会は今年で3年目で、後程パンフレットで国際交流協会の事業について紹介させていただく五條が今年新職員ということで、まだ初めてです。また、先ほど自己紹介された、うちの協会の山下メリンダさんは23年目ということで、色々教えていただきながら取り組ませていただきます。昨年の協議会におきましては、うちの協会の知名度が低いというか、市民の方々が協会の名前を知らないという方が市でア

アンケートをやっていた中で 80%を超えていたということもありまして、我々も自分の協会のPRそれから事業についても、例えばやさしい日本語とか相談事業にこれから一生懸命に取り組んでいきたいと考えています。そして、今申しました様に今年度から新職員を2人採用して今まで以上に市と一緒に多文化共生の街づくりに取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。この協議会での国際交流協会に対するご意見等いろいろな事をどんどん言っただいて、我々もそれを受け入れながら一生懸命やっしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。続きまして、パンフレットを使っってうちの協会の紹介を五條のほうからさせていだきたいと思ひます。

### ○五條主事

では、資料9のパンフレットをご覧下さい。当協会は市民と諸外国国民による友好親善を基調として、市の発展に寄与することを目的に設立されておりまして、もともと旧清水市の時代は清水市は清水市、静岡市は静岡市であったのが平成16年に旧清水市が静岡市と合併した時に現在の国際交流協会（SAME）に合併統合されました。SAMEの将来像は世界と静岡市を繋ぐコーディネーターとして、世界に輝く静岡市の実現に寄与していくというところが目標でございます。現在行っている内容は3つに分けておりまして、1つ目は地域経済の活性化を支える取り組み（オレンジ）。清水港は今年120周年記念で外国客船も沢山入って来ております。おもてなし事業ということで、通訳ボランティアさんがそういった所で活躍しております。これからになりますけれども、ホームステイコーディネート事業、また在外日本語学習者の交流事業ということで、ちょうど今週またポーランドから日本語学校の団体が来られたり、そういった方たちの支援をしております。地域外交を支える取り組み（赤）、私はこの姉妹都市を担当しておりまして、つい先日姉妹都市交流事業としてストックトンから青少年の中高生たちが来日されておりました。明日から今度は静岡市の選考した中高生をストックトン市に送ります。そういった中で日本文化のことを外国の方に知ってもらったり、日本の学生には静岡のことを海外でも知ってもらおうような活動をしております。もうひとつ、対日理解促進交流プログラムですけれども、こちらは今まで韓国の水原（スウォン）市と交流しておりまして、今年もやる予定です。あとは外国語講座も当協会で開催しておりまして、ちょうどこの建物のところで実戦英語講座、英会話講座を開いたり、2カ月に1回ぐらい「英語でカフェトーク」で静岡市内のALTの先生を呼んで市民の参加者と英会話を楽しんでもらおうということをしていまして、世界の言葉と文化を学ぼうというイベントでは、ちょうど先週7月20日中国と台湾を取り上げて行いました。わくわくキッズ英語というのもやっております。多文化共生社会の構築ですが、毎月SAMEニュースというものを発行しておりまして、日本語版それから英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語・フィリピン語に今年4月からからベトナム語も加わりまして6言語で

やっております。先ほど望月さんにご紹介いただいたんですけれど、交流フェアのところなんですが、「異文化コミュニケーション体験フェア」、今年名前が変わりまして、皆さんのお手元にカラー刷りのチラシが置いてあります。名前が「静岡わいわいワールドフェア」、今年11月24日の日曜日に行います。もし皆さんよろしければご参加いただければ嬉しいです。相談事業はうちの協会に相談員がおりまして、相談員の方たちが一般市民の方からの電話だったり、実際に相談にいらっしゃる方に対応しております。県には「かめりあ」がありますが、市でも9月2日に相談センターを開設する予定です。外国人住民のための日本語講座を毎週日曜日に開いております。最近ですと企業様からご相談を受けることも多く、7月から当協会に契約した講師を企業に紹介しております。講師の方の会話の時にボランティアを呼んでいるんですが、日本語ボランティアを育成していくという取り組みもしております。簡単ですが、以上で当協会の仕事の紹介とさせていただきます。

#### ○望月課長補佐

ありがとうございます。ただいまの説明で質問はございますでしょうか。それでは、今後会議を進めていく、会長・副会長の選出にはあります。冊子の資料の10-2の最後のページを見てください。22ページを開いてください。静岡市附属機関設置条例を掲載しております。第6条において、会長は、委員の互選により定める者とありますので、立候補又は推薦にて決めていただきたくお願い申し上げます。会長職は、協議会を代表し、会議の議長を勤めていただきます。それに加え、委員の皆様の見解の集約や、1年やった後、最終的に「提言書」を作成し市長にお渡ししていただくということになります。そういった案の作成や、必要に応じて外部の会議へ出席していただく等、大変重要な役目となりますので、可能な限り、毎回会議に出席していただくことが求められます。また、副会長職の選出につきましても、静岡市附属機関設置条例第6条4項の中で、会長等の指名等により副会長または副委員長をおくということになっております。会長を選んでいただき、会長から副会長を指名していただくという流れになります。副会長職は、会長を補佐し、万が一、会長に事故があるときや、会長が欠けてしまった際に、会長の職務を代理していただきます。それでは、どなたか、会長に立候補する方はいらっしゃるでしょうか？誰か推薦という形でやっていただく方はいらっしゃいますか？

#### ○ホリウチ アリッセ イズミ委員

私としては、全委員は会長としていかがでしょうか。推薦させていただきたいんですが。

#### ○全 高香委員

私は一番最初ということもあって、大した自己紹介もできずに皆さん一体誰なんだろうと思われていると思いますが、もう一度簡単に何をやっているかということをお話

したいと思います。在日韓国人で、東京生まれで静岡に18年、現在静岡大学で韓国語を教えています。高校まで日本で、その後韓国へ行って大学へ通って、それから日本へ戻って来て静岡にいるという感じです。日本語ネイティブなので日本語が1番得意なんですけど、日本語を使いながら生活して日本の社会にいますと…。こんなたよりない感じなんですけど…。

○全員  
お願いします（拍手）。

○望月課長補佐  
皆さんから拍手をいただきましたので、よろしいでしょうか。

○全 高香委員  
はい。

○望月課長補佐  
よろしくお願いします。

○全 高香委員  
はい、やらせていただきたいとおもいます。

○望月課長補佐  
次ですね、全委員から会長になっていただくということで、ご了承いただきましたので、今度はどなたか補佐として一緒にやっていただく方を指名していただけないでしょうか。

○全 高香委員  
できれば私こんなんでよく分からないので、前期も副会長をされていた福井ユミさんにやっていただければと思います。皆さん、いかがでしょうか。

○全員  
お願いします（拍手）。

○福井 ユミ委員  
お力になれないかもしれませんが、頑張ります。

○望月課長補佐  
全会長が福井委員を副会長に指名しましたので、皆さんの承認もいただいたというこ

とで、福井ユミさんによろしくお願ひします。

○全員

よろしくお願ひします (拍手)。

○望月課長補佐

それでは議題に入らせていただきますので、会長と副会長につきましては、こちらの席に移っていただけないでしょうか。会長がこちらで、こちらが副会長です。ありがとうございます。それでは協議会の規定により、会長が会議の議長を、副会長が会長の補佐を務めることになっておりますので、これからは全会長に議事を進めていただきます。よろしくお願ひいたします。

○全 高香会長

それでは、会議を進めます。本日は第1回目の会議ですので、お互いのことをよく知りあう意味もこめて、自由に意見交換をしたいと思ひます。時間が8時20分まででありなないのですけれども、有意義な意見交換をしていきたいと思ひます。そうですね、10分ぐらい、先ほど自己紹介をしてまだ足りないよ、こんなことやりたいよという方がいらっしやいましたら、是非お願ひしたいなと思ひます。私はここで生活して、日本語で生活していても、行政であったり必ずそういったことでぶつかる事が有ります。国籍が違ふという事でぶつかる事が沢山有るんですね。そういった経験をしながら、だけれども制度が変わると一気に解決する問題が沢山有ると。なので外国人の人たちはいろんな問題を抱えているんですね、個人でも、民間の人達の協力を得ながらでも解決できない事が制度が解決してくれるということは有るんですが、私自身の立場としては、外国人の人達の根本問題を解決してくれる制度を私達外国人は作る事ができないじゃないですか。だけれども、自分たちの為にする事はできないけれども、こういった意見、今こんなことで悩んでいるよとか、こういった事を毎日考へているよとか、そういった事を是非いろんな活発な意見をいただきながら、どんどん市政に反映できる様な形でみんなで提言をまとめていきたいと思ひますので、どうでしょうか。最近の問題として何か有りませんか。じゃあ順番にいきましょうか。簡単に何か、留学生の方たちが今いらっしやるので、留学生の立場として困っていることが有るよというのをお話していただければと思ひます。

○叢 潔委員

はい、では私から。静岡に来て3年になります。静岡市の市民性はみんな親切でごく親しみを感じます。もっとこういうところがあつたらということでしたら、私は留学生として普段は大学で生活しながら日本人と関わる機会が多いんですね、静岡市は

かんきょう ととの けんしゅうせい とう しごと しずおか き ひと  
環境が整っていない。研修生の人たち等、仕事をしに静岡に来ている人たちにもせつ  
かく しずおか し きて いた いた の で、この人達にとってもっと住み易い静岡市になっ  
れば、もうちょっと日本語が上達するような準備をしてあげたほうがいいんじゃないか  
な と思 います。ただここで働くのではなくて、静岡市のことを好きになって欲しい。

ぜん こひやんかいちょう  
○全 高香会長

いまがくせい たちば しずおか し にほんご きょういく いろいろ  
今学生<sup>はなし</sup>の立場として、静岡市の日本語の教育をもうちょっと色々してもらえたらなとい  
うお話でよろしいでしょうか。

そう けついいん  
○叢 潔委員

りゅうがくせい はたら けんしゅうせい たちば かた  
留学生ではなくて、働く研修生の立場の方たちに。

ぜん こひやんかいちょう  
○全 高香会長

けんしゅうせい かた わ 分 かり ました。いまがくせい はなし うかが  
研修生の方たち<sup>はなし</sup>にということですね。今学生さんからお話を伺ったの  
で、こちらでお仕事をされている方たち何か有りましたらお願いします。今、目が合  
いましたのでお願いします。

ながさか あるび ない いん  
○長阪 有美奈委員

ありがとうございます。私は今切実な問題を取り上げようとしていて、母親ですから  
かいしゃ こ こと だいぜんてい  
会社より子どもの事が大前提のライフスタイルになっておりまして、今、資料6の3の  
③をずっと見つめていて、これですこれです皆さん。是非検討中じゃなくて、静岡市内  
にはもうそろそろではなく、絶対にもう必要だと思 います。インターナショナルスク  
ルを設立していただければ、まず外国の方の視点から更に魅力的な街になると思 います。  
しずおか かんが なが や とうきょう ま なか  
静岡のロケーションから考えてみましょう。名古屋と東京の真ん中じゃないですか、  
だから名古屋と東京の真ん中にいて失礼な言い方かもしれないけど、なんとかなる時代  
はもう終わっていると思 います。静岡市自体をもっともっとグローバル化したほうが良  
いと思 います。例えば欧米の人達の人口流出の歯止めになると思 いますし、結局今は  
えいご えいご と おっしやられてるんですけど、じゃあ静岡市内ではどうですかとなると、例  
えば私もロシア人でありながら、子供には日本語はもちろんなんですけれどもロシア  
ご えいご ぜ ひ みつ  
語と英語も是非三つやらせたいが、それはものすごく大変な事なんです。まず私はロ  
シア人ですが、子どもが外に出てもロシア語誰も分からないんですね。子供がめちゃく  
ちや大変、私は母として今それを実感してます。子供が混乱してます。それは置いと  
いて、じゃあ英語はグローバル化の為に今静岡市内ではちょっとランク下げます  
と、英会話の幼稚園は確か三つ有ると思 います。中田のNBと一番有名なのはMEKで  
すかね、麻機のほうで。もう一か所有るんですね不認可のところ  
あ あさばた いっ しょ あ ふにんか ところ  
し上げますと、不認可は絶対やめて欲しい。不認可の幼稚園はちょっと、やはり教える

以上先生じゃないとダメだと思います。幼稚園にしてもそれはベースのベースですから、ましてや小さい子に対して基礎をきちっと習っていらっしゃる方じゃないと、逆に日本人の子にしても英語は第二言語ですから、その接し方とか教え方とか小さい頃が一番大事だと思います。ですから、日本の幼稚園は置いておいて、英語の幼稚園はまずは不認可はやらせないでいただきたいと思います。本音を申し上げます。私は全部見てきたんですけど、認可の下りてるほうがしっかりしてます。自分の子どもを英語の幼稚園に入れました。静岡市にそのまま住みます。英語の幼稚園で散々英語をやらせました。だけど、例えば葵小学校に入りますと、じゃあ何の為に英語をやらせたの？私は今もそう思う。じゃあ親の英語しか覚えられないじゃないですか、はっきり言って。例えば、ちゃんと目的がある親が仕事の関係で海外に住むとか、静岡から転勤されて東京へ行くとか、目的も色々だと思うけれども、静岡市内で住むことを前提に考えると、じゃあ幼稚園でせつかくあれだけ英語をやらせたのに、普通の日本の小学校に入ったら子供が混乱するだけだと思いますよ。是非、3の③の今頑張ってる英語の幼稚園はしっかりしててすごく頑張ってくれてるんですね。やらせたい親もすごく沢山いらっしゃるし、じゃあそのやらせてあげた親の為にインターナショナルスクールをできるだけ早く設立してあげてください。それは必要だと思います。

○全 高香会長

ちょうどこのインターナショナルスクールに関して前期に何度か話題になったと思うんですけど、こうして提言として出たので、今後教育問題として今期色々お話を伺いながらやっていきたいと思います。ありがとうございます。もう一方、是非という方いらっしゃいますか。では、終わりの時間も近づいてきたので、今年度あと3回、来年度という形でありますので、まず10月開催の予定をたてていきたいと思います。まず、皆さんの予定で絶対ダメだよという曜日がありますか？例えば木曜日はどうでしょうか。今木曜日にできないのはTANさんかな。

○TAN KAH XING委員

10月17日の木曜日は確実にできないですが、それ以外は大丈夫です。

○全 高香会長

水曜日だったら大丈夫ですか？

○TAN KAH XING委員

大丈夫です。

○全 高香会長

水曜日ダメな方は？では水曜日でいこうと思います。10月16日はいかがでしょうか。

大丈夫ですか。では、10月16日（水）でお願いします。場所はこちらの会議室で、今後こちらの会議室で開催していくという形になりますので、皆さんよろしく願いいたします。時間は今日と同じで7時から8時半までです。第2回は10月16日（水）の開催とします。私はこれで終了したいと思います。運営を事務局にお返しします。

○望月課長補佐

全会長ありがとうございます。

それでは、次回の会議の内容について、事務局から説明をお願いします。中川さんお願いします。

○中川主任主事

はい、第2回の協議会では本日お配りした資料の概要版、資料8関連事業一覧を踏まえて議論をしていただく予定です。皆様には次回10月16日の協議会までにこちらの資料を見ていただき、やっている事業の中で更にこれを充実させて欲しいとか、ここには載っていないがこういう事を新しく行うべきだ、等の意見を言うていただく予定です。詳細についてはメールや郵送で連絡させていただきたいと思っておりますので、またご確認をお願いします。私からは以上になります。

○望月課長補佐

基本的にはメールで連絡をさせていただきますが、いただいているメールアドレスではちょっと厳しいよという方は帰りに事務局に伝えていただければ郵送させていただきますので、よろしくお願いします。早い段階で皆様へ通知を出させていただきます。その中には資料5 昨年のアンケート調査の結果も送りますので、容量が大きくなりますので、もしメールでは困るよという方がいらっしゃいましたらよろしくおねがいします。それでは、閉会にあたり、男女参画・多文化共生課長からごあいさつ申し上げます。

○久保田課長

皆さん、大変お疲れの所ありがとうございます。自己紹介の中でも、20年住んでいらっしゃる方、あるいは短く静岡に住んでいらっしゃる方とありましたが、皆さんの暖かい静岡に対する大好きな気持ちが、私達ここに座っている日本人のスタッフよりも、もっと思いが強いのではないかと感じました。今日は時間が短くてお二人だけの意見しかいただかなかったんですけれど、バックグラウンドが違うので子どもさんの教育の話とか留学生さんの話とか、これから2回目以降それぞれ生活の中で困っていること、あるいは友達から聞いて、こんな話友達が困ってるよとそんな話をもち寄ってまとめていただき、2年をかけて話し合いを持つんですけれども、その先に提言書、提言書の意味は静岡市役所に対してこういう事をすればもっと外国人の方が住みやすくなりますよとまとめたものを提言書といいます。それを静岡市長に出していただいて、その内容について2年後なんですけれども私たちのほうで改善に向けて取り組みをやって

いく為のものを提言書といいます。今日は時間も短くてみなさん全ての方のご意見を聞く時間はなかったんですけれども、2回目以降はみなさんから必ず1人1回は話をさせていただかなと思っておりますので、期待しておりますのでまた色々考えていただければと思います。本日は本当にご苦勞様でした。これからよろしくお願いいいたします。

○望月課長補佐

では、以上をもちまして、第1回静岡市多文化共生協議会を終了いたします。皆様、大変お疲れ様でした。お忘れ物のないよう、また、交通事故等、十分お気をつけてお帰りください。なお、公共交通機関で来られた方は、交通費をお支払いしますので、交通費の紙をご記入の上、机の上に置いて帰るようにして下さい。よろしくお願いたします。また書き方が分からなかったら事務局で対応しますので、言ってください。お願いたします。ありがとうございました。